



2020年11月30日

各 位

会 社 名 株式会社インターアクション
代表者名 代表取締役社長 木地 伸雄
(コード番号 7725 東証第一部)
問合せ先 経営企画室 I R 担当
電話番号 045-263-9220

新製品の提供開始に関するお知らせ

当社グループでは中長期的な企業価値向上を目指し、新規事業としてFA画像処理装置の開発に取り組んでまいりました。

このたび、当社子会社の株式会社東京テクニカルにおいて歯車向けFA画像処理装置である「歯車欠陥検査装置」(以下、本製品)の提供を開始することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 製品提供開始に至るまでの経緯

当社グループでは、「IoT 関連事業」「環境エネルギー事業」「インダストリー4.0 推進事業」を3本の大きな柱として事業を展開しております。現在、中長期的にさらなる事業規模の拡大を目指すべく、当社グループのコア技術である「光学技術」を各セグメントにそれぞれ掛け合わせ、既存事業とのシナジー効果による新たな価値の創造に挑戦しております。

近年、新興国の自動車生産及び販売台数の増加やEV(電気自動車)化により、金属歯車の需要は拡大していくと予測されております。一方、現状では金属歯車メーカーの多くが製品の欠陥を目視で確認しているため、少子高齢化による工場の人材不足等により1日の検品数に限界があることや、個人の能力による検査品質のばらつきが課題となっております。また、金属歯車は、複雑な形状や金属による光の乱反射により細かな傷の撮影が困難であり、目視検査と同レベルの検査品質を機械で安定的に再現することは難しいとされてきました。

本製品は、歯車試験機の製造・販売を行っている株式会社東京テクニカルの歯車に関する知見と当社の光学技術を活用することで、複雑な形状からでも細かな欠陥を検出し、AIを組み合わせることで、目視検査と同レベルの検査品質を保つことが可能となっております。

これにより、人材不足や検査品質のばらつきによる問題を解決できるほか、品質検査が自動化・機械化されることで、長時間の稼働が可能となります。さらには検査に必要な人員の削減により、生産性の向上及びコストの削減にも寄与できると認識しております。

現在、試験機を評価していただいた企業様をはじめ、複数の企業様より引き合いを頂いている状況であり、販売後の評価も踏まえながら拡販を行っていく予定です。また、今後は金属歯車以外の品質検査への応用も視野に入れ、更なるFA画像処理装置の開発を行ってまいります。(図1及び図2参照)

当社グループでは本製品の提供を新規事業の第一歩として、事業領域の拡大及び企業価値の向上を目指してまいります。

2. 新製品の概要

(1) 製品名

歯車欠陥検査装置

(2) 特徴

①歯車外観撮影システム

産業用特殊カメラと光学技術の併用により、検査に最適な画像撮影を可能としております。

②ディープラーニングを使用したAIによる画像解析システム

歯車に関する学習データベースを元に画像解析を行うことで、高精度かつ安定した品質検査を可能としております。

3. 販売開始時期

2020年11月30日

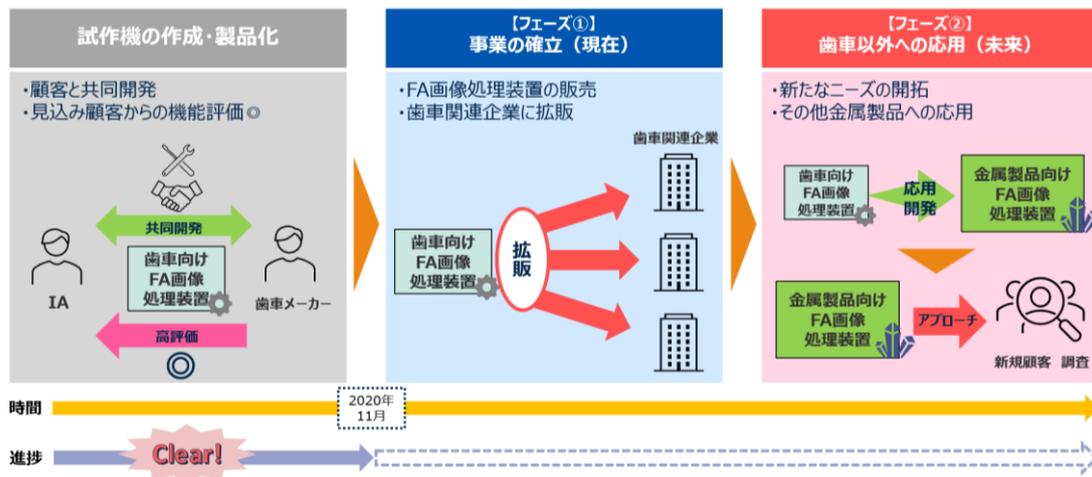
4. 新製品の企業化のために特別に支出する額

2021年5月期における支出は軽微であります。

5. 売上高への影響

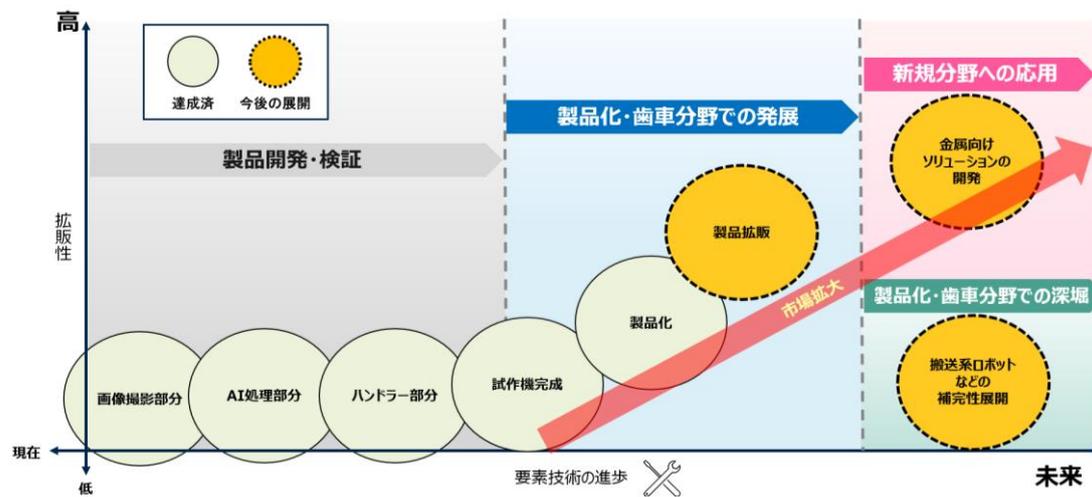
本件新規事業が連結業績に与える影響は軽微ではありますが、中長期的には当社グループの業績への寄与が高まるものと考えております。

図1：FA画像処理装置事業の進捗と今後



- ・製品化まで完了。今後は製品の拡販検証を行い、事業規模の拡大を目指す。
（フェーズ①）
- ・フェーズ①の状況によって、さらに歯車分野以外への応用を検証。新しい市場の開拓を目指す。（フェーズ②）

図2：FA画像処理装置事業の市場展開



- ・インターアクショングループの持つ要素技術の進歩に比例し市場が拡大。画像処理部分以外の分野についても需要が発生する可能性あり。（歯車搬送用のピッキングロボ等）
- ・「光学技術×歯車検査×AI×搬送系」のトータルソリューション展開も視野に入れ、拡販及び市場拡大を目指す。

以上